

1

心と心をビビビと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

January 2022  
VOL.147

# ishin-denshin

Let's コミュニケート!

楽しい時間はあっという間

きおく画伯

今年といえば…

社長と行こう! こっそり食堂

2021 食べおさめは絶品中華



水野印刷工芸  
社内報

ミデコの日々の取り組みを  
知っていただくため、  
社外にもお配りして  
います。

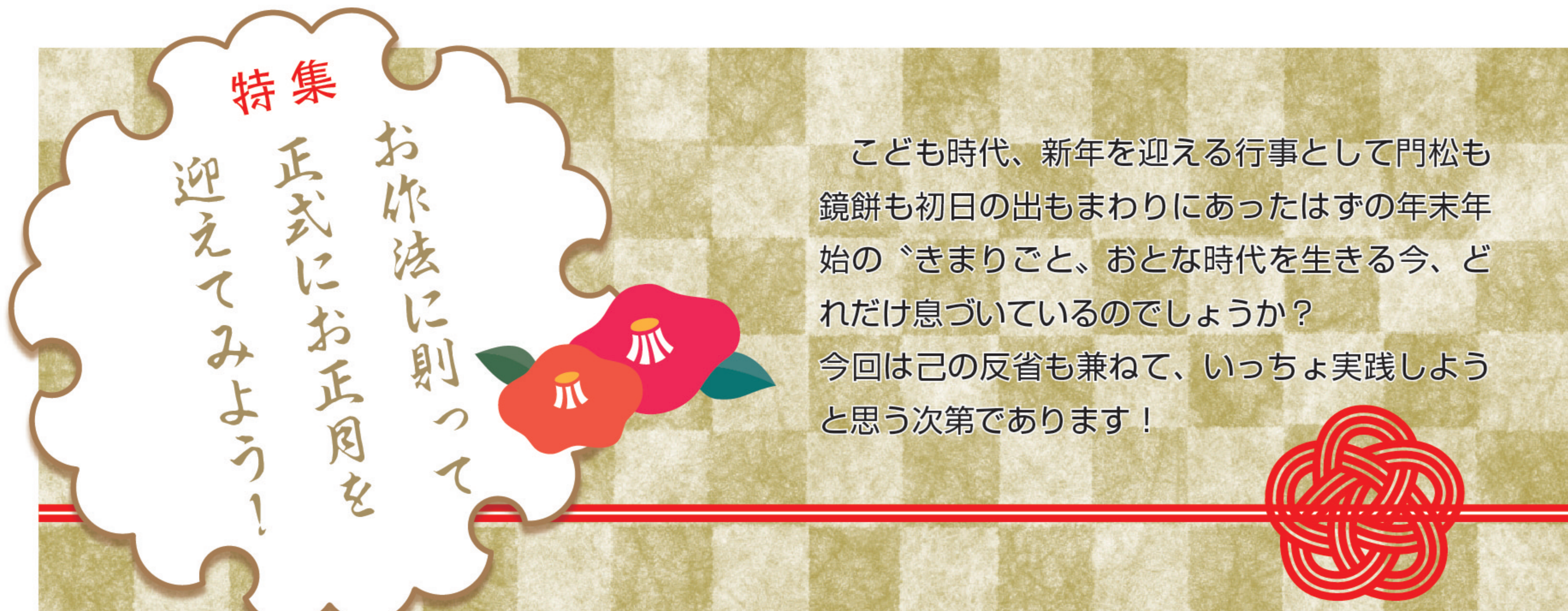
みかわんこ▶



特集

お作法に則って  
正式にお正月を迎えてみよう!





**下ごしらえ**  
(~12/31)  
清しく新年を迎えるために…

### 1. しめなわ・門松・お飾りもちなどを飾る

注連縄や門松は歳神様に來ていただくための目印。これを一夜飾り(31日にやること。失礼にあたる)になることを避け、28日くらいまでにやるべし。ちなみに「歳神様」とは元旦に新年の幸せをもたらすために、高い山から降りてくる神様(=祖先の霊)。旧暦の正月にあたる「小正月(1月15日)」(地方によっては正月に多忙だった女性をねぎらう日で「女正月」とも。すばらしいシステム!)に門松やしめ飾りを持ち寄って燃やす「左義長・どんど焼」の煙に乗って天上へ帰っていくのだそう。この炎で焼いた餅を食べると無病息災、書き初めを燃やすと字が上手になるなどの言い伝えがあります。

### 2. お屠蘇を作る (これが一番やってみたい!)

「爛鍋銚子」と「屠蘇三献(大中小の盃セット)」、「屠蘇散」を用意。大晦日、銚子の中にお酒(360ml)か、みりん(300ml)を入れ、そこへ屠蘇散を冷たく浸してお屠蘇を作っておく。

(左) 有田焼 朱巻富貴長春 酒器台付屠蘇器セット ¥24,200  
(右) 高野山の開運お屠蘇(屠蘇散/大師陀羅尼製薬) ¥500  
amazon.co.jp



お正月



迎若え水  
wakamizu-mukae

若水=一年のはじめに汲む水。若水は縁起の良い水とされ、体に取り込むことで一年の邪気や不幸を取り払えると考えられています。かつては元日の早朝、井戸や小川に汲みに行く風習を「若水迎え」といいました。その際のルール(?)として、  
・できるだけ遠方まで、早朝まだ人と会わない時間に汲みに行く。  
・道中、もし人に会っても口をきかない。…などがあるそうです。  
現在では、元旦、蛇口から新年の水を汲み、顔を洗って、お茶を入れる。シンプルイズベストです。ちなみに若水で淹れたお茶は「大福茶」と言われ無病息災を願って飲むそう。ぜひ。



式三献  
shiki-sankon

三々九度と言った方がわかりやすいかも。前日に用意しておいたお屠蘇を使います。飾りの祝い肴(食べない)を用意して行きます。正月はおせち(数の子、黒豆、田作りなど)で代用すれば十分。同じ盃で回し飲みするので、洗う用の水を淹れたボウルなども忘れずに用意しましょう。家族での式三献は幼長の順、つまり一番年少の人から行きます。屠蘇三献の最上段、小さい盃を取り、お屠蘇は子の成長を祈って親が注ぐといいでしょう。もちろん少量で良いので、形だけ三回に分けて注ぎます。これを三口で飲み、水で洗って次の人に回します。最後は一家の長老。親には子が長寿を祈って注ぐと良いでしょう。  
一巡したら、二番目に若い人が中サイズの盃をとり、一番若い人まで順番に回します。最後の一巡は大きい盃で三番目の若い人から順にスタートして二番目に若い人でフィニッシュです。一人当たり三杯形式で三回、形式上九杯飲んだことになるので三三九度と呼ぶわけです。最後に全員で「おめでとうございます」と言って食事します。これを正月三日の毎朝実施します。



おせち  
osechi

「おせちぶるまい」を略して「おせち」とよびます。人日(1/7)、上巳(3/3)、端午(5/5)、七夕(7/7)、重陽(9/9)の節句(節日)に用いる供物、節供が転じておせちとなりました。本来は四段のお重で、上から一の重(祝い肴=数の子や黒豆、田作り等)、二の重(酢のもの、口取=きんとんや伊達巻、紅白なます等)、三の重(焼き物=エビ、タイ)、与(四)の重(煮物)となります。長寿や無病息災、子孫繁栄など様々な意味を持つおせち料理ですが、それを入れる重箱も「お祝い事が幾重にも重なりますように」という願いが込められたもの。ここまでくると大喜利のようです…

※風習、謂れは地方によって異なったり諸説あったりします。

さあ、いよいよ新しい一年のはじまりです！素晴らしい年のスタートになるよう、自動努力としてまず爽やかに厳かに迎えたいと思います。ところで「あけましておめでとう」って神様に対する祝福の言葉だっただけで、ご存知でしたか？



初詣  
hatsu-no-ude

伝統的には「恵方詣」と言って、その年の吉方にある神社に詣でます。恵方というのは歳徳神という神様がいらっしゃる方角のことを言い、縁起が良く願い事が叶うといわれていました。恵方詣は元旦でなくとも、松の内くらいまでにすればよいとされているので、一度試してみても良いかもしれません。(2022年の恵方は「北北西や北」です!) 気をつけたい点は恵方詣に「稲荷神社」を選んではいけません。お稲荷さんは、願い事をした時に「見返り」を求めているといわれ、恵方詣は見返りなどを期待せず、お参りに来た人の幸福を願うという神様がいらっしゃるため、恵方詣に限ってはあまり適さないと考えられます。(※「初詣」は好きなところでOK)

《参拝のお作法》  
①境内の手水舎で柄杓を取って左手を清め、柄杓を持ち替えて右手を清め、再び持ち替えて水を左手で受けて、口を清める。※柄杓を口につけない! ※水を飲まない!  
②賽銭を入れて鈴を鳴らし、「二礼二拍手一礼」礼は直角の最敬礼にする。手を胸で合わせる時、右の指を少し下にずらしておき、そのまま二回拍手して高さを揃えます。「神様と一つになる」意味があるそうです。  
※まずは神様への感謝を。願いを叶えてもらうのではなく、叶うように努力するのでチャンスください! …とお願いする心算でおこないましょう。ヨクバラナイシンシナシセイガタイセツデス。(なぜひ言…)

#### 稲荷社

元は農業の神様  
五穀豊穡が転じて商売繁盛のご利益がある。

#### 八幡宮

武門の神様。  
勝負運のご利益がある。

#### 天神・天満宮

頭脳明晰だった菅原道真公がお祀りされ、学問成就のご利益がある。

#### 神明・神明宮

伊勢信仰に由来。  
内宮(天照大神)か外宮(豊受大神)を分霊。



鏡餅  
kagami-mochi

鏡餅は、歳神様の依り代です。そもそも一連のお正月行事は、新年の神様である「歳神様」を家に迎えて・もてなし・見送るための行事ですが、お迎えした歳神様の居場所が鏡餅です。昔は、年の初めに歳神様から新しい年の幸福や恵みとともに、新年の魂を分けていただく、つまり、一年分の力を授かると考えられていたのです。分かりやすい例に「数え年」があります。毎年魂を分けていただくということは、その数を数えれば年齢になります。そこで、生まれた時が1歳で、その後は元旦がくるたびにみんな一斉に年をとるシステムだったわけです。年魂をあらわす餅玉を、家長が家族に「御年魂」「御年玉」として分け与えたのが年玉のルーツで、玉には魂という意味があります。この餅玉を食べるための料理が「お雑煮」で、餅を食べることで体に魂を取り込みました。また、健康長寿を願い、硬いものを食べる「歯固め」があり、固くなったお餅を食べる鏡開きは、この名残です。

おまけ



12月31日

年越しそばを食べる

由来は「晦日そば」。商家など月末の繁忙期に使用人の労をねぎらうため、そばを出前した習慣の名残といわれる。

除夜の鐘を撞く

庶民は大晦日の晩は寝ない。だから夜を除くで「除夜」という。

1月1日

初日の出を拝む

帰宅して寝る

元旦はひたすら寝る。寝正月。正月行事は2日から。  
→だから「初夢」は2日の晩の夢…ということ。



※庶民の生活。武家や公家は除夜をしないので、元旦から儀式があった。

いかがでしたでしょうか? 年々忙しさにかまけて形骸的になり「お正月ってっても…ねえ?」みたいなテンションで過ごしてましたが、ただただ物を知らなかっただけで判明。昔は寝正月が一般的だったなんて(ちゃんとしてての…ですけども)! とか、ご先祖様を招いて、もてなしてお送りして…まるでお盆みたいだな、とか。知れば知るほどおもしろい! 今年はいつもとちょっと違うキモチでお正月が迎えられそうです。





# ミデコラム

今月のにわか編集長  
前田美奈

## にわか編集長とは!?

ishin-denshinの編集長は持ち回り制。特集ページの執筆や、みんなのコラムにコメントをつけたり小コーナーの原稿をまとめるのが主な仕事です。



ミデコ社員ひとりひとりが、それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!



第115回

## 突然の断酒

お酒は弱い方でもなく、いける口と思っています。かつては別にお酒が好きになくてもなく、付き合いでもなければ酒とは無縁の生活をしてきました。そんな習慣が変わったのが2020年3月から。世の中は新型コロナで自粛と買い占めのオンパレード、何か息苦しさを感じる日々を過ごしていたのです。このコロナ禍が訪れるまでは実に健康的な生活をしておりました。体重も順調に減り、運動をする習慣もできておりました。コロナに入ってから自粛を言い訳にスポーツジムも登山もランニングもしなくなり(運動をやめるきっかけを探していたのかも)、代わりに、今まで縁がなかった一人飲みをし始めるのです。最初のうちは、週末に適当な缶ビールを買ってちびちび飲むだけ。ちょっと飲めばほろ酔い気分。ああ、何か疲れが癒されるような感覚。それから徐々に一人飲みが定着し、お酒への興味も広がっていきました。缶ビール、缶酎ハイ、瓶ビール、ワイン(赤のみ)、ヴェルモット、ウイスキー、ウォッカ…だんだんと度数が高いものを飲むようになり、週末だけだった飲酒が平日へと波及していきました。水曜日は週の真ん中ということで、許容。折り返し地点って感じで飲む。スーパーで買い出しに行くときまずお酒コーナーに足を運ぶという悪癖が付き、水曜日にあきたらず、月曜だろうが火曜日でも飲む。だんだんと少量のアルコールではほろ酔いすらしなない耐性が出て来てしま



でくごく最近までこんな飲み方をしていた自分ですが、突然お酒を飲むのを控えるようになりました。それは健康診断の結果に強いショックを受けたからなのです。

結果を見る限り肝臓の値γGTPが100を超えてしまっています。過去数年は25~40程度で遷移しているが、突然の3倍の数値。まあ、最近飲んでたお酒の度数と量を考えれば明白。40度以上のお酒を頻繁に飲むような生活は肝臓には酷。今更ながら肝臓にゴメンと言いたいです。

い、酔うために度数の高いものを求めるといふ悪循環に陥ってしまいました。身体には悪いだろうと少しの罪悪感を覚えつつも、まだ若いと自身の飲酒を許し、身体のことなど見て見ぬ振り。冷蔵庫の食品を切らすことはあっても、常にウイスキー、ワイン、ウォッカの3種はあるという状態でした。

とある週末の晩酌の例。餃子や炒めたソーセージをつまみながらビール(一瓶500ml)を飲む。その後、ミートソースのフィットチーネをつまみながら赤ワインをワイングラス3杯ほど飲む、風呂に入り、湯上りにビール(小瓶355ml)を飲む、すっきりしたいので、ウォッカをストレートでショットグラス2杯分飲む、寝酒にウイスキーをストレートでショットグラス1杯分飲む。とまあこんな具合。ウォッカとウイスキーの分量を間違えると、翌日えらい目にありますが。

まだ断酒してそう経っていませんが、アルコールを摂らないと、身体の調子が良いと感じます。イライラしなくなる、疲れにくくなる、目覚めが良い、頭がシャキッとしている気がする、実感として調子がいいのです。やっぱりアルコールって毒なんだなと改めて感じた次第です。肝臓のトラブルに繋がる前に気づけたのは幸い。今後一切お酒を飲まないということはしませんが、量には気をつけ、肝臓様をいたわりたいた心に誓ったのです。

ちなみにここ2年近くの飲み生活の中でいくつかお酒のコダワリが出て来ました。ビールはキリンのハートランドビールかアメリカのパドワイザー。ワインはイタリアトスカーナのキャンティ系か、チリ系。ウイスキーはスコットランドのスコッチ系、ウォッカはイギリス系。だけど、ポーランドのウォッカズブロッカは美味しいです。香りもよくてリッチな気分が愉しめます。このウォッカはストレートじゃないとその風味と香りを楽しめないと感じますね。まあ、自分のお酒の好みがいろいろ分かってきましたし、いろんな発見ができ、学べたので害ばかりではなかったと思います。嗜む程度なら良いものです。

他には、お酒関連グッズも揃え、ビールグラス(ガラス、保冷効果付きのステンレスグラス)を買い、高級なワインオープナーを買うなどいろいろこだわってきました。お酒を嗜むレベルから有害レベルに変わってしまったのは残念。週末飲み限定でしばらくはこうかと思えます。健康的に美味しくお酒と付き合っていきたいので次は健康とアルコールに関する知識を身につけていきたいですね。

アル中ではないので、我慢しようと思えば全然できますし、飲まなければ飲みたくなくなってくるので、コントロールは容

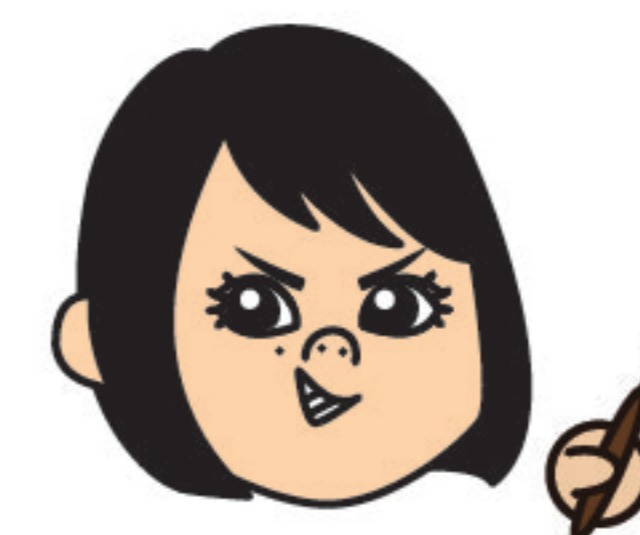


# きおく画伯

第66回

お題 トニー・ザ・タイガー(ケロッグ)

描いた人 浩子さん



あけましておめでとうございます。寅年ということで、虎のキャラクターにご登場いただきました。え?猫にしか見えない??そんなバカな。



易。度数の高いお酒はストレートで飲んだ方が美味しいのですが、これだけはしばらく控えます。昨年より今年の方が肝臓の数値が悪いのはおそらくストレート飲みのせいだと思うので。

肝臓さん、しばらくは労いますので、これからもよろしく願い申し上げます。

## にわか編集長コメント

飲んでましたねえ。ほほほほ飲めない私からしたら「すごい!」の一言です。嗜むくらいならかっこいいですもんね。

毎年の健康診断は1年の成績表みたいな…なかなか努力が実を結びませんが、コツコツA判定を目指してがんばりましょう!(勝手な仲間意識。心象風景は円陣です。オーツ!)



第114回

## またまた「青」

今年も運転免許の更新だった。周りの知り合いに「今年更新なんだけど、やっぱブルーからゴールドになれる、あと一ヶ月慎重に運転しんとね」と高らかに宣言していた私だが、更新連絡書の高ガキには「青」の文字が。そして「青」の理由が記載。そういえば前回の更新すぐにそのようなことが、自分の中でもう禊が済んだ案件だと思い込んでいたのだ。いやあ、相変わらずバカだね。ということで運転免許センターへ。「金」の方より、少し余分にお金と時間を使って新しい免許書を更新することができた。



運転免許の更新に行くともらう「交通の方法に関する教則」がある。もらってから、毎度毎度、もらっただけになっている。その教本の中で今年43年ぶりに復活したものがあのである。それは、信号機がない場所での横断について「手を上げるなどして運転者に横断の意思を明確に伝える」ことを歩行者の心得として載せてあるのである。横断歩道で歩行者が立っていたら車は止まって歩行者が渡れるようにしなければならない。歩行者保護である。しかし、この状況、渡る気がなく立っている人もまあまあいるのである。前方の横断歩道に人がいるなあと思いつつ、アクセルを弱め、止まれるスピードで近づくと、止まる。渡るのかーい! こんな具合に。しかし、この教本に載った歩行者の心得が浸透すれば、こんなケースは少なくなるだろう。実際、調査によると手をあげる「ハンドサイン」をすると8割ほど車が止まる確率も上がるそうなのだ。

先日、出勤時、信号のない横断歩道でなんとなく手が上がるのが見えた。止まると小学生が二人、手を上げながら渡って行った。そして渡り終え、運転する私の方を見て、半沢直樹ばりに深々とお辞儀。

ここまで望んでいないが誰かに話したい一瞬だった。歩行者が手をあげる「ハンドサイン」、運転者がさあどうぞと促す「ハンドサイン」。うん、いい光景。

今までもらえばなしの教本、5年かけて、熟読します!

## にわか編集長コメント

う…美しい光景! なんでしょう、お互いに「すいません」「ありがとう」というキモチがあるともっと生きやすくなるの…って案件は意外にたくさんありますよね。「謙虚は日本人の美德」、歪曲して受け取る方もいるでしょうが、素直に受け取りましょ。せっかく同じ時代に生きているのだから、お互いを思って楽しく過しましょう。…なんだかスケールが大きくなりましたが、私はゴールドをキープしてます。えへん。



第114回

## 潔く負けを認める男

今年の天皇杯はもう終わってしまったのですね…ええ、元旦に見るのを楽しみにしてたあの天皇杯ですよ…

正月の楽しみを奪われ、不貞腐れてた私ですが、大分トリニータと浦和レッズの決勝はホント見応えありました。おもしろかった! …まあこれを元旦に見たら…(しつこい!)

今季限りで勇退するトリニータの片野坂



知宏監督。この人が一見すると強面のかたそうタイプなんです。率先してサポーターを煽って踊ったり歌ったり。実に表情豊かでチャームアップ！個では勝てないなら組織力で勝つ を掲げ6年かけて組織プレー、ハードワーク、緻密な戦術と練習でカバーするスタイルを確立。その「片野坂サッカー」の集大成があつた天皇杯。最後のホイッスルまで本当にどちらが勝つかわからないトリニータサッカーの魅力を感じる存分楽しませていただきました。

決勝戦終了後、浦和のインタビューと大歓声にかき消されそうになりながら、かすれた声を精いっぱい張り上げてトリニータ選手たちに伝える片野坂監督の姿。「この経験と悔しさを次に生かすことが絶対にみんなはできる。グッドルーザーでいよう」  
いい言葉。今年のマイ流行語大賞は「グッドルーザー」に大決定。ちなみにこの動画再生は40万回を超えたらいいですわ。

少なくとも、監督を中心に輪になって耳を傾けていた選手達は、みんなまっすぐな目で、聞き逃すまいとしてるのが伝わってきた。監督になんとかお土産を持たせて旅立たせたかったんだろうな。こんな環境でサッカーができるって、どちらも幸せだな。  
この日は名古屋の長男も帰省してて、家族みんなで天皇杯に夢中。もちろん決勝点はすばらしく、まさに劇的。「やっぱり槇野はもってるなあ」が男どもの感想。

そして何より最近就活三昧で練習参加もままならない長男が「あーサッカーやりたい…」とぼつり。ありがとう天皇杯、ありがとう浦和と大分の関係者皆さま。このまま長男からサッカーが消滅してしまうのではなからうか…といらぬ心配もしましたが(実際にはさうでも一向にかまわないのだから)蹴球小僧にはどうやら染色体の奥底に刻み込まれたスイッチがあるらしい。この日の試合はそれぞれに何らかの刺激を与えてくれま

した。来年もワクワクするサッカーにたくさん出逢えますように！  
ちなみに片野坂監督、夫と同学年でした。ここ一番の驚きです。

#### にわか編集長コメント

毎年主力が移籍してしまう中、J3から昇格してJ1まで来たのは本当にすごいと思います。サポーターのフラッグ「片さんありがとう いってらっしゃい」がすべてを語っています。泣けるわ〜。  
来季は古巣・ガンバ大阪の監督に就任。要チェックですよ！



#### 第115回

### 二人の女神に逢える贅沢な朝

朝起きるのがつらいこの時期。気合いを入れて飛び起きるもよし、時間目一杯ぬくぬくしてからダラダラ起きるもよし。人それぞれ好きなようにしていいと思う。自分の場合は気合いを入れるまでとはいかないが、二人の女性アナウンサー見たさに比較的毎朝スムーズに起きられるタイプだ。一人目は「ナグちゃん」ことメーテレ(名古屋テレビ)の南雲穂波大先生。東大大学院卒の才媛で、在学中に難関と言われる気象予報士の資格まで取ったスゴいお方。2020年4月から平日朝の情報番組「ドデスカ!」のお天気コーナーや特集コーナーを担当している。番組のオープニングは名古屋の東別院にある社屋の玄関先から中継してくれるので、ジモビーにとってはリアルに現在の天気の様子が変わってありがたい。晴れているのか、雨が

降っているのか、暑くなりそうなのか、寒そうなのか。ナグちゃんの仕事や格好、気象予報士ならではの的確なコメントでほぼその日の天気予想がついてしまう。今の時期のオープニングは真つ暗な中での中継だが、冬至を過ぎれば日毎に明るくなっていくだろう。そんな季節の移り変わりも感じることができる貴重な瞬間を見逃すわけにはいかない。そしてナグちゃんとその笑顔に「今日もガンバルぞっ!」と勇気を与えられる。我々オッサンの女神としてこれからも東海地方の素敵な朝をお届けして欲しいと切に願うばかりだ。

そしてもう一人。TBSが社運をかけ、大エースの安住紳一郎アナをMCに抜擢してこの10月からスタートした朝の情報番組「THE TIME.」の進行役、エトちゃんこと江藤愛大先生だ。江藤アナといえば、昼の情報番組「ひるおび!」で恵俊彰さんとの安定した進行はもちろん、「音楽の日」「CDTVライブ!ライブ!」なども担当するエース格。そんなエトちゃんが全日出演していた「ひるおび!」を月〜水出演とし、「THE TIME.」の木、金曜出演してくれるとあれば見ないわけにはいかない。「ひるおび!」出演時は髪型も変え、朝イチからあのエトちゃんスマイルを見れば元気100万倍。月〜水を担当する宇賀神メグ様も決して悪くないが、やっぱりエトちゃんに癒される。そして7時ちょうどに始まるシマエナガダンス。番組キャラクターの「シマエナガちゃん」ファミリーと一緒にMCとアシスタントたちが「今日もいい日になるように〜♪」と歌って踊るひと時がとにかくゆるくて可愛い。安住さんはもちろん、笑顔のエトちゃんのシマエナガダンスは見る者を虜にすること間違いなし。余談だが金曜日のMCを担当する香川照之大先生のシマエナガダンスは、半沢直樹の大和田常務ばりの形相でキレキレのダンスを披露してくれる。ゆるさも可愛らしさの微塵もないが、ある意味香川さんらしくてこのダンスも見る

価値アリだ。

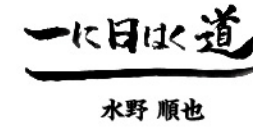
囁り物入りで始まった「THE TIME.」だが、視聴率においては苦戦が続いているという。「Zip!」(日本テレビ)、「めざましテレビ」(フジテレビ)に追いつくどころか、低視聴率の為に打ち切った前番組、夏目三久大先生の「あさちゃん!」とさほど変わらないとか。まだ始まって3ヶ月足らず。もう少し長い目でみるのも大事なのではないかと思うが、中々そうもいかない事情もあるだろう。早々に各コーナーもリニューアルしてようやく見る側も慣れてきたところ。決まった時間に天気予報やニュース、定番のコーナーなどが始まると時計を見なくても出掛ける指標になるからありがたい。安住さんの落ち着いた進行や絶妙な切り返し、ちょっと小粋なコメントは他番組にはない強み。かつての「ズームイン!朝」を彷彿させる列島リアルタイム中継では、地方局の男性アナウンサーと安住さんのやりとりがとにかく面白い。もっとも出勤前の一番バタバタするこの時間帯にじっくり座って見たりしているわけではないが、支度をしながらBGM的に聞こえる情報は必要不可欠だ。個人的には列島中継で地元CBCの若狭敬一アナウンサーが高確率で盛り込むドラゴンズネタを安住さんがやんわりとたしなめたり、上手にいじる様子はお約束とわかっていてもついつい見入ってしまう。若狭大先生にはサインをもらったり、握手をしてもらったこともあったりと勝手に親近感を持っているせいかもしれないが、ナグちゃんからのエトちゃん見たさで、しばらくは「THE TIME.」も暖かく見守るつもりだ。

#### にわか編集長コメント

じっと見られる時間じゃないから、なんとなく楽しそうな声のするフジや日テレをつけてるんですね…ちゃんと視聴する時

間帯だったらまた違ってくるのかも。

ご尊名を今回初めて知りましたが、江藤さんをはじめ「CDTV …」で拝見した時、なんてGパンのしっかりこないお嬢さんだろうと衝撃を受けたものです。普段絶対履いてないだろうな…。



#### 第115回

### 戦う土俵を知る

先日「B級観光地」という本を読んだ。ほとんどの地域がおらがまち自慢をしているが実はそれは自分たちが認識しているだけで他者には支持されていない。一番印象的なのは地区大会があったと仮定したらそこで勝てるかどうかを考えてみるのがいいという。観光の世界大会だったら、パリ、ニューヨーク等々、日本からのエントリーは東京が京都、富士山くらいか。アジア大会では、東京、京都、富士山、北海道、大阪、沖縄、日本全国大会では、それに九州各県、云々。中部大会なら、金沢、富山、高山、下呂、静岡、伊豆、伊勢志摩。まだ蒲郡は出てこない(泣)東海三県大会だったら、蒲郡の出場はできるが勝負になるか疑問。愛知大会なら、名古屋、犬山、知多半島、日間賀島、篠島、蒲郡、渥美半島、奥三河…。

海があり、温泉あり、交通の便も良い等々の条件を加味したら勝負になりそうだ。蒲郡は世界大会を目指してはいけないうだ。アジア大会も目指してはいけないう。インバウンドもいつかは成り立つ日が来るであろうが、アジアの人たちが蒲郡を旅の着

地点として目指してくるのは考えにくい。全国大会も同様。それよりは地道に愛知大会を中心に地域の良いところを生かし、磨き上げることにエネルギーと時間を集中させることが東海三県大会につながるし、中部大会へもつながる。

この考え方は我々の業務にも通ずる。まずは自分の戦える土俵(市場)をちゃんと認識して然るべき戦略、戦術を立てることが大切だと思う。それはMG研修でも学んでいることであるが、会社の規模が変われば戦う市場も変わる。新しい市場に押し出されれば、今までそこで経験を積んでいる会社にこてんぱんにやられるのだ。それが通り。

#### にわか編集長コメント

たまたま観てたテレビで「努力すれば夢が叶うんじゃない、夢が叶うまで努力するんだ」って名言(?)が出てました。スボ根とかの話ではなくて、その考えの方が現実的な、と納得。  
夢を持つのは大事だけど、それにふりまわされてちゃんと足元を固めてないと、すぐわれちゃうよ…と。一步一步着実に足跡を残していきましょう! 2022年どアタマからいいスタート切れそうですね!



とレクチャーくださる社長と山本氏。否が応でも期待値と実食のハードルは上がります。山本氏で所望の台湾ラーメンが夜のメニューだったため担々麺に、そして今日のランチ A と B を頼んでみんなでシェア…という初の試み(?)。担々麺と麻婆豆腐、(名前は忘れたが)野菜とお肉の炒めモノという王道のメニューにも関わらず、視覚か

ら想像していた味は一扫され、唯一「八角」の味を感じた以外は「何のスパイスだろう…なんだ、この旨味成分は…」と唸ってしまう。そんな私の思考回路が手に取るようになったのか、「また旦那さんとおいでん」と社長。来ますとも。で、「担々麺美味しいよ」と、さも自分の手柄のようにおすすめします!(文・前田)



#### 今月のお題

年末年始のお楽しみは?



朝寝と雑煮



出前



夜ふかし



鍋



恒例金尊会  
水戸市に1人1杯



寝正月



一心軒(御幸町)

with 山本・前田

「美味しい」との噂は耳にしましたが、お初です。新参者の私に「担々麺が美味しいよ」「町中華の味じゃないよ、本格派だよ」





にわか編集長  
コメント

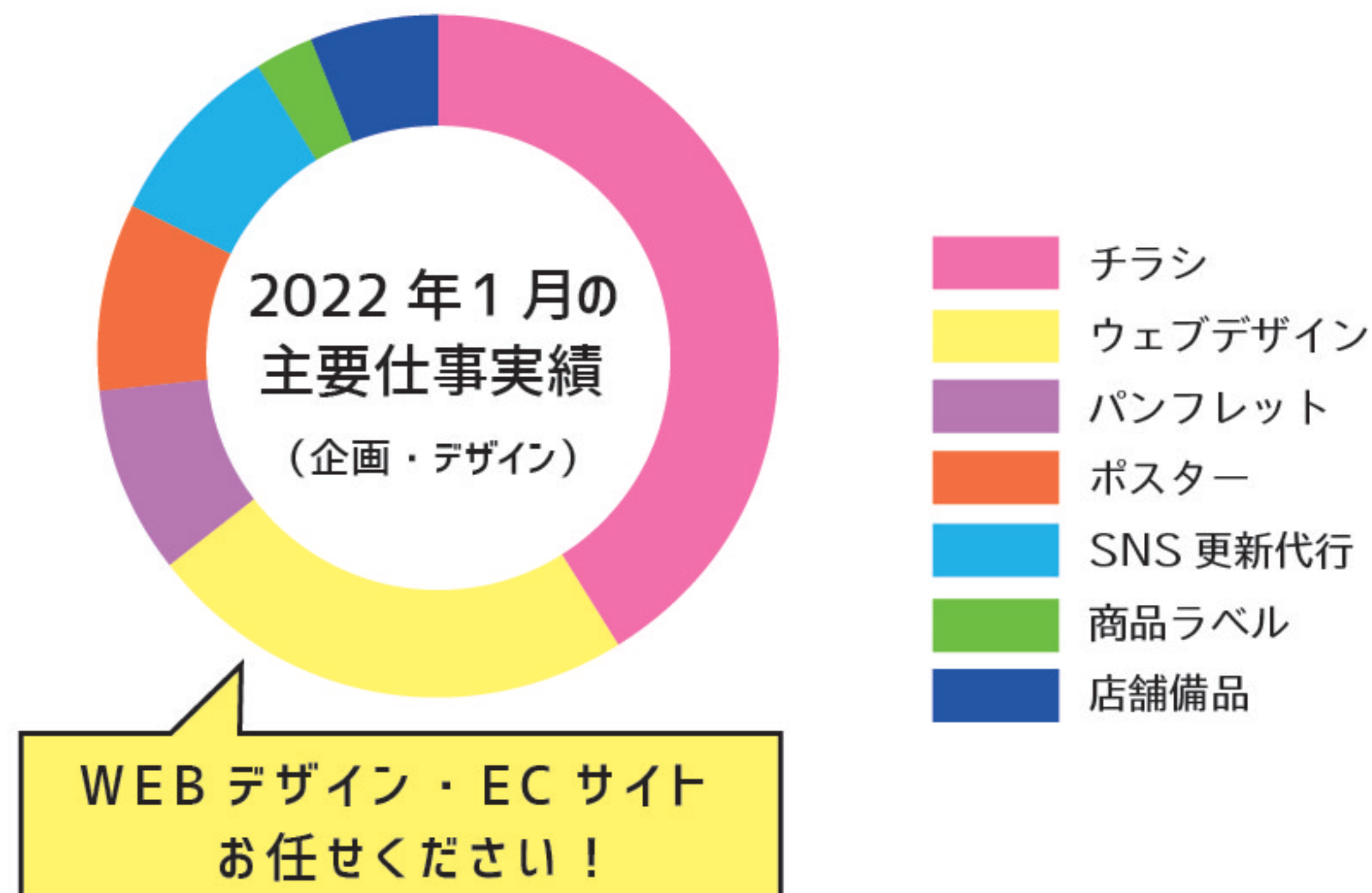
店舗外観とお店のロゴがどストライクです。厚切りハムも食べごたえあって美味しそう…さぞや話も弾んだこと  
でしょう。青春を共に過ごした者同士、何度話がループしても楽しいもんです。いいお店を見つけましたね!

今月の 八百万百景

冬の朝の竹島散歩

撮影者：山本兼佑

冬の早朝竹島散歩。風もなく海面も穏やか。年末年始の空気感をどことなく感じつつ朝の心地よい時間を過ごします。石灯籠を見れば朝日をバックにいい感じ。今年により良い年になることを願います!



今月の  
にわか編集長  
編集後記も持ち回り制!

先日のクリスマス寒波。あの極寒の夜、次男の「蹴り納め」で2時間(!)外でガタガタ震えながら観戦。手袋してても手の皮膚が痛い、まさに底冷えの中、蹴球小僧とかつての蹴球小僧(現役OBも含む)たちはキャッキョッしながらゲーム三昧にいそしんでました…正気の沙汰とは思えぬ。今年は私もそんな夢中になれるものに出会いたいものですわ。あー寒かった!!!

前田美奈